

使用ツール

ロイロノート  
シンキングツール

活用シーン

- ロイロのシンキングツールを使用し、図形を動かしながら仲間分けを繰り返すことで、図形の構成要素に着目した仲間分けができるようにする。
- 図形の構成要素の何に着目して仲間分けをしたか言葉に表し、言葉を基に図形をシンキングツールに送ることで、図形の概念を形成できるようにする。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 自由に図形を移動させたり、移動させながら交流をしたりすることで、理解を深めていた。また、分類→言語化→分類を繰り返すことで、二等辺三角形や正三角形の定義を正しく理解できていた。
- 言葉に合わせて二等辺三角形や正三角形を作ることで、より図形の構成要素に着目でき、シンキングツールを使用することで、共通理解が効果的にできた。

